



■はじめに

本ドキュメントでは、AXIS ネットワークカメラのファームウェアバージョン 7.1x 以降で、トリガー入力があった際に画像を FTP サーバーへ送信する為の設定手順を説明します。

■トリガーとなる条件

画像を送信するトリガーには以下のものがあります。

※機種によっては、これ以外の条件が選択可能な場合もあります。

Applications

カメラにインストールされたアプリケーションによる検知

Detector

音声検知、デイトモード検知、ライブストリームアクセス、モーションアラーム、衝撃検知、いたずら検知

Hardware

リレーおよび出力、ネットワーク接続異常検知、温度異常検知

Input Signal

デジタル入力ポート、手動トリガー、仮想入力

PTZ

エラー、移動中、プリセットに到達

ストレージ

破損、録画

システム

システムの準備完了

時刻

繰り返し、スケジュールを利用、スケジュール、追加条件

■設定手順

手順 1: AXIS ネットワークカメラの設定ページにアクセスする

1. Chrome ブラウザなどの推奨ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS ネットワークカメラの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. Root ユーザーにてログインします。
4. 設定メニューをクリックし、「システム」 - 「イベント」をクリックします。



手順 2 : 画像送信先サーバーを登録する

1. 「Events」 - 「Recipients」を開きます。
2. 「Add」をクリックします。
3. 画像送信先の FTP サーバーに関する情報を登録します。

Name

FTP サーバーの名前を任意で設定します（半角英数推奨）。

Type

FTP を選択します。

Network address

画像送信先 FTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を指定します。

※FTP サーバーをホスト名で指定する場合は、「システム」 - 「TCP/IP」のプライマリ DNS サーバーとセカンダリ DNS サーバーに AXIS ネットワークカメラが参照できる DNS サーバーの IP アドレスを設定してください。DNS サーバーの IP アドレスが不明な場合、同一ネットワークになる PC で、コマンドプロンプトから ipconfig/all というコマンドを実行すると確認できます。

Upload path

ファイル送信先ディレクトリのパスを指定します。ホームディレクトリに画像を送信する場合は空白のまま、サブディレクトリに画像を送信する場合はディレクトリ名を指定します。さらに下位のディレクトリを指定する場合は¥マークを利用します。

例）ホームディレクトリ以下の「camera1」ディレクトリに「event」というフォルダを作成して、そこに画像を保存する場合は、camera1¥event と記述します。

Port number

FTP サーバーの接続先ポート番号です。FTP サーバー管理者より特に指定がなければ変更は不要です。

User name

FTP サーバーへログインする為のユーザー名を指定します。

Password

FTP サーバーへログインする為のパスワードを指定します。

Use passive mode

FTP サーバーへの接続にパッシブモードを利用する必要がある場合はチェックします。

Use temporary mode

FTP サーバーへの接続にテンポラリーモードを利用する必要がある場合はチェックします。

Test

設置した内容で FTP サーバーへのファイルアップロードが可能かテストします。

The screenshot shows the 'Recipient Setup' dialog box with the following fields and annotations:

- Name:** New Recipient
- Type:** FTP (dropdown menu) **FTP を選択**
- Network address:** (empty text box) **FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力**
- Upload path:** (empty text box) **ファイル送信先ディレクトリパスを指定**
- Port number:** 21 (text box) **FTP サーバーのポート番号**
- Login Credentials:**
 - User name:** Guest (text box) **FTP ログインユーザー名**
 - Password:** (empty text box) **FTP ログインパスワード**
- Advanced Settings:**
 - Use passive mode **パッシブモード利用時にはチェックします。**
 - Use temporary mode **テンポラリーモード利用時にはチェックします。**
- Test:**
 - Test the connection to the specified FTP server (checkbox) **Test** **設定内容での送信テスト**

Buttons: OK, Cancel

設定が完了したら「OK」をクリックし保存します。

手順 3：アクションルールを設定する

1. 「Events」－「Action Rules」を開き、「Add」をクリックします。
2. 「Action Rule Setup」ウインドウで、実行するイベントをルールとして設定します。

Enable rule

本ルールを有効にするにはチェックを入れます。

Name

ルールの名前です。任意の名前を設定してください(半角英数推奨)。

Trigger

利用するトリガーを選択します。

Schedule

既設のスケジュールを利用する場合：

プルダウンメニューから利用シーンに適したスケジュールを選択します。

新しいスケジュールを登録する場合：

「New Schedule」をクリックして新しいスケジュールを登録します。

Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合にチェックを入れ、トリガー条件を選択します。

イベントを実行した後、再びトリガーを受け付けるまでに待ち時間を設ける場合は「Wait at least xx:xx:xx before re-running the rule」に時間を指定します。

Type

実行するイベントの種類です。FTP サーバーへ画像を送信する場合「Send Image」を選択します。

Stream Profile

送信する画像の設定をストリームプロファイルから選択します（ストリームプロファイルは「システム」－「ストリームプロファイル」で設定できます。）カメラのデフォルトの画像設定を利用する場合、こちらは変更不要です。

Image Frequency

送信する映像を取得する際のフレームレートの目標値を設定します。単位は秒・分・時間を選択できます。

例) 1second と設定した場合は 1 秒ごとに画像を取得します。

Duration

撮影継続時間を以下のいずれかから選択します。

- ・ Pre-trigger time x seconds . . . イベントが起動する直前の画像を撮影します (単位 : 秒)。
- ・ Post-trigger time x seconds . . . イベントが起動してから画像を撮影します (単位 : 秒)。

送信する枚数を指定したい場合、以下の項目で枚数を指定します。

- ・ Send only the first xx images . . . 撮影が開始してから最初の xx 枚の画像だけを送信する。

例) Pre-trigger time 及び Post-trigger time を 1second と設定し Send image を 2 と指定した場合、1 秒間隔でプリとポストの画像を取得し、併せて 2 枚の画像を送信します。

Recipient

手順 2 で設定した送信先の FTP サーバーをリストから選択します。

Create Folder

ファイル送信時にフォルダを作成する場合、フォルダ名を設定します。引数を利用して日付や時刻をフォルダ名として設定することもできます (詳しくは画面下の「See help for more information」リンクをクリックしてください)。

Base file name

ベースとなる画像ファイル名を任意で指定します。また、以下のオプションを選択するとファイル名の末尾に文字列を付加できます。

- ・ Add date/time suffix
画像ファイル名に日付と時刻を付加する場合に選択します
- ・ Add sequence number suffix(no maximum value)
画像ファイル名に、数の上限の無い連番を付加する場合に選択します
- ・ Add sequence number suffix up to
画像ファイル名に数の上限を設けて連番を付加する場合に選択し、上限値を設定します
- ・ Overwrite/Use own file format
常に同名で上書きします。

Action Rule Setup

General

Enable rule イベントを有効にするにはチェック

Name: FTP 任意のイベント名称（半角英数）

Condition

Trigger: Input Signal トリガーをプルダウンより選択 Start condition only

Digital Input Port トリガーの条件を選択

1

Active: Yes No

Schedule: Always (No Schedule) スケジュールの選択 スケジュールの新規作成

Additional conditions

その他の条件を設定する場合

Wait at least 00:00:00 before re-running the rule (max 23:59:59) 次のイベントを受持するまでの待ち時間設定

Actions

Type: Send Images アクションの種類（Send Image を選択）

Stream profile: vga ストリームプロファイル ストリームプロファイルの新規作成

Image frequency: 1 frame(s) per second(s) フレームレート（秒/分/時間）

Duration: Pre-trigger time 1 second(s) } 撮影継続時間

While the rule is active

Post-trigger time 1 second(s)

Limit: Send only the first 2 images 送信枚数制限

Recipient: FTP 送信先サーバーを選択 送信先サーバーの新規作成

*Create folder: フォルダを作成する場合フォルダ名を記載

*Base file name: image.jpg 画像ファイル名（半角英数）

ファイル名に付加する文字列

Add date/time suffix

Add sequence number suffix (no maximum value)

Add sequence number suffix up to 10 and then start over

Overwrite/Use own file format.

[*See help for more information](#)

3. 設定が完了したら「OK」をクリックし保存します。

注意：

- ・ プリ／ポストバッファの画像を送信処理中に次のトリガーが入った場合、そのトリガーは無視されます。
- ・ 画像送信先の FTP サーバーの接続に失敗した場合、画像は破棄されます。
- ・ 指定した撮影間隔の合計サイズがカメラのバッファ容量をオーバーした場合、正しく送信されません。そのような場合、カメラのログファイルに「Cache full」のメッセージが残りますので、撮影間隔や撮影時間を減らしてください。

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2018 年 11 月現在のものです。

- 登録したイベントは一覧に表示されます。イベントの有効／無効はチェックボックスで行えます。送信先サーバーを登録済の他のサーバーへ変更したい場合は Recipient プルダウンメニューから選択してください。

Events

[Action rules](#) Recipients Schedules Recurrences Manual triggers

Name	Trigger	Schedule	Action	Recipient
<input checked="" type="checkbox"/> FTP event	Hardware - Temperature - Above		Send Images	FTP

Add... Copy... Modify... Remove

送信先サーバーを選択